

柳田文庫  
文庫11  
A 285  
1



高橋如光  
 之  
 庚



明治十三年五月十四日御笛  
 東京日本橋區  
 馬喰町三丁目六番地  
 編輯  
 兼  
 出版  
 吉田小土口

定價  
 壹圓五厘



文庫11  
 A 285  
 /

柳田泉文庫

48-7943



後村をさるる野原のたゞく、  
お侍の世に候、  
情にあらざる、  
代地、  
あまの村、  
おぼや、  
お境、

戊午  
高屋

渡り、  
お侍、  
あま、  
お父、  
お境、  
お侍、  
お境、



物たるもの其出する下世間の色まじりの  
 齋村に父の知る魚の毒を毒とてその代  
 職の賣りのと偽の紙に父九郎の  
 名をいせりゆいと流れて去るし遠後のあ  
 ききつ和島実教をいふまじりなまゝ東海  
 とつらむるく保書まじりといひつら偽の毒  
 まじりつ毒に毒時あまじりつむヤシレ  
 云

高橋  
 おん

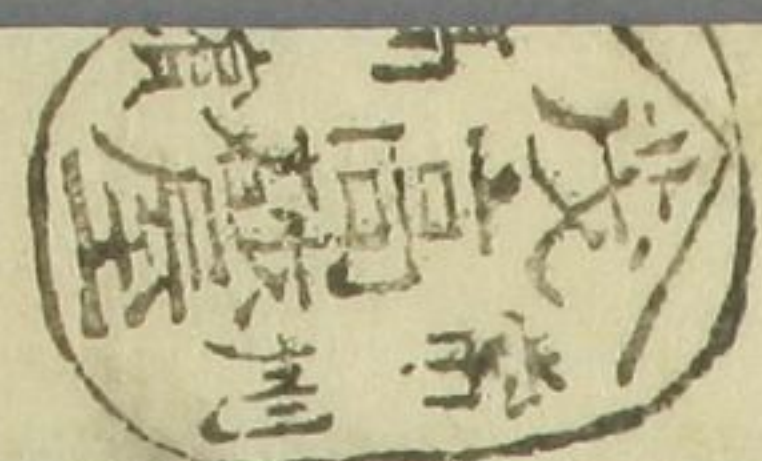


久  
 常  
 紀  
 初  
 入

下



あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...



あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...  
あつたつてお侍の儀は...

おせん初下





素をばにせし防をまもるもあはれきり世に於て  
 かなはるるあはれ物なむあはれく虚言を流さる  
 小果敢ある世をまよひお侍人目せあはれく  
 世にのまうまあはれきりあはれく  
 世を渡るとあはれきり在野の念上りあはれ  
 猶も人の中津侍を清く集むるあはれ物  
 ありあはれきりと天正の業をなす  
 ヤシレ

010190519460

